

C-1-2	基幹事業である枝線整備の調査・設計等（A1-1-2）と端部枝線（単独管）整備の調査・設計等を一体的に行うことにより、普及率の向上を資する。				
2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
Ⅰ 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		循環のみちの実現に向けた取り組みとして、計画的かつ効率的に下水道を整備することで、下水道処理人口普及率の目標を達成した。これにより、安心、安全で快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造することに寄与することができた。 ・計画期間内に68.3haの面整備を行い、下水道所人口普及率が増加した。			
Ⅱ 定量的指標の達成状況	指標①（下水道 処理人口普及 率）	最終目標値	9.1%	目標値と実績値 に差が出た要因	計画的に污水管渠整備を行うことで目標を達成した。
		最終実績値	9.1%		
Ⅲ 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）					
3. 特記事項（今後の方針等）					
今後も引き続き、計画的かつ効率的に污水管渠整備を進めていき、安心、安全で快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造することに寄与していく。					